

なぜ、国語力が大切なのか？ その理由。

- すべての学力の土台となるのが国語力
学力を伸ばすうえで必要不可欠な力
- 社会に出てからも必要とされる国語力
- 国語力を鍛えること = 生きる力を育むこと

国語力は小学生のうちに鍛えるべき

本物の学力は国語力が基礎になります。小学生のうちから最優先で身につけさせたい学力、それが国語力です。単に国語の成績を上げるためだけではありません。国語力の有無がすべての成績の伸びを大きく左右するからです。言い換えれば、国語力がないとすべての教科で伸び悩むことになるからです。計算や暗記は得意でも文章題ができない生徒は明らかに国語力不足と言えます。その国語力は短時間では身につけることはできません。ですから、小学生のうちに徹底的に国語を鍛える意義は極めて大きいのです。

国語力は単に学校生活だけで必要とされるものではありません。むしろ社会に出て仕事をする上で相手の話をきちんと理解するための「読解力」、的確に用件を伝えるための「表現力」、そしてよりよい人間関係を築くための「コミュニケーション力」など、まさに生きていく上で必要とされる大切な力だと言えるのです。



読書習慣は小学生のうちに身につけるべき

読書は国語力を養う最良のものです。心が柔軟な小学生のうちにどれだけたくさんの本を読むか、その読書量によってその後の人生が大きく変わってくると言っても過言ではありません。

- たくさんの文章にふれることで様々な力が身につきます。
読解力、論理的思考力、想像力、洞察力、分析力など
- 本を読むことと文章を書くことは表裏一体です。文章を読むからこそ文章も書けるようになります。
- 登場人物に感情移入することで情操が肥やされ、心の豊かな人間に育ちます。
- 読書によって世の中を広く知ることになり、世の中を読み解くカギを手に入れることにつながります。



国語には
こんなに
単元がある

大きく分けて、知識分野、読解分野、表現分野の3分野があります。すべての単元をしっかり身につけるには時間がかかります。じっくりと取り組んでいきましょう。

<知識分野>

- 漢字・熟語 ● 故事成語 ● ことわざ
- 慣用句 ● 文法 ● 古文の知識
- 敬語の使い方 ● 文学史

<読解分野>

- 小説の読解 ● 古文の読解
- 説明文の読解
- 詩・短歌・俳句の読解

<表現分野>

- 記述問題
- 作文 ● 面接
- 小論文

K'sセミナーの
コンセプト

K'sセミナーは小学生から国語力を徹底的に鍛える塾です。

小・中学生のうちできるだけたくさんの本を読み、感動に出会い、積極的にさまざまな文章に触れていく中で「豊かな感性」が育まれていきます。K'sセミナーは、単に受験合格だけを目指す塾ではありません。子どもたちの将来を見据え、知識力、読解力、表現力のみならず、話す力、コミュニケーション力まで鍛えていく塾です。その基礎力を作るのが「**作文朗読教室**」です。「読む・書く・聞く・話す」の要素を徹底的に鍛え、小学生のうちに国語力の土台を作ろうとするのが「**作文朗読教室**」なのです。

「国語力」を鍛えることは「生きる力」を育むことにつながると考えています。

主宰 蛸崎 暁子



